



# 観光施設の 入場者数ランキング

平成  
13年度

1位

円山動物園

約200種の動物を飼育する北海道最大の動物園。ヒグマ、オジロワシなど北海道特有の動物を飼育しているほか、ウサギやヒツジに触れられる子供動物園などがあります。トラとライオンの内檻は厚さ3cmの強化ガラス製。ガラス越しに間近で観察できます。

詳細 円山動物園

(中央区宮ヶ丘3) ☎621-1426



2位

大倉山ジャンプ競技場

昭和47年の冬季オリンピック札幌大会90メートル級ジャンプの舞台となった場所。スタート地点までリフトで登ることができ、札幌を一望できます。併設のウィンタースポーツミュージアムでは、最新のシミュレーターでスキージャンプやボブスレーの疑似体験ができます。

詳細 大倉山ジャンプ競技場

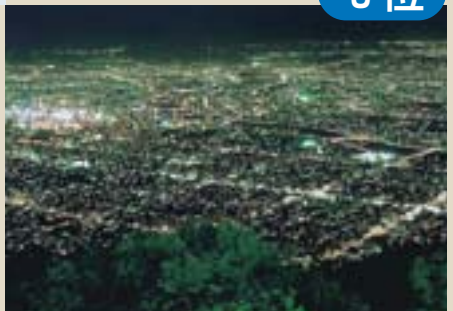
(中央区宮の森1274) ☎641-1972

藻岩山

アイヌ語で「インカルシペ〜いつもそこに上がって眺望する場所」と呼ばれる標高531メートルの山。山頂からは、札幌の街並みはもちろん、北は石狩湾、南は支笏湖の外周山まで望むことができます。特に、光のじゅうたんを敷きつめたような夜景は絶景です。

詳細 もいわ山ロープウェイ ☎561-8177

3位



- 4位 羊ヶ丘展望台
- 5位 テレビ塔展望台
- 6位 近代美術館
- 7位 道庁赤レンガ
- 8位 青少年科学館
- 9位 さとらんど
- 10位 札幌ドーム



これからの観光には効果的な情報発信が必要です

「きたい」と思う人をどうやって増やしていくかがカギですね。

**市長** 札幌には、年間で千三百万人を超える観光客が訪れます。しかし、近年、雪まつりなどのイベントがマンネリ化しているという声も少なくありません。観光客の数も伸び悩んでいる中、札幌の観光を活性化させるには、何が必要だと思えますか。

**中田** そのことを考えるのに、おもしろいデータがあります。わが社の調査では、札幌を訪れた人の約六割が「非常に良かった、満足した」と答えています。さらに、全体の四割以上が「また札幌に行きたい」と回答しているんです。

**ズイモーネ** 札幌には、再訪を促すような歴史的建築物も少ないですし、意外な気もしますね。

**小林** 時計台や羊ヶ丘展望台といった観光客に人気の高い場所があります。しかし、何度も足を運ぶ場所かということ……。

**木村** そうした街の特徴を考慮しながら、「また札幌に行きたい」と思う人をどうやって増やしていくかがカギですね。

**ズイモーネ** 昨年末に大通公園で開催した「ミュンヘン・クリスマス市」のような新しいイベントを増やしていくのも一つの方法では。

**中田** 一方で、札幌の観光は、雪まつりやYOSAKOIソーラン祭りなど、大型のイベントに依存し過ぎているという指摘もあるんですよ。

**市長** これからは、観光客や市民が一体となって参加できる体験型のイベントを増やしていくといいのですが。例えば、市の観光施設の一つである芸術の森では、体験型の陶芸講習会などを設けて、何度も足を運んでもらえるよう工夫を凝らしています。

**木村** 市民と一体になってやっていくには、もっと身近な視点が必要なのでは。

**中田** キーワードは「食」ではないでしょうか。札幌には、海の幸、山の幸といった豊富な食材が集まっています。いわば「食のテーマパーク」。しかし、残念なことに、その売り込み方に工夫が足りない。

**小林** 観光ボランティアを始めて気付いたのですが、札幌の玄関口であるJR札幌駅に、

